



エメラルド通信

【発行】
令和元年 冬
【発行者】
エメラルドサポート

第19号 枯葉舞い冬の気配

冬支度を前に、9月に発生した台風15号と19号の被害は、千葉県をはじめ、関東・甲信・東北など各地でいまだに残っています。この度の災害で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を切に願っております。

こうした災害に対応するためには、日ごろの備えが大切です。

避難場所や避難方法、避難時の持出品。自宅における備蓄品など。定期的な確認が必要ですね。

当事業所においても、定期的に災害対応や緊急時対応のスタッフ研修を実施しています。不安なことや、不明な点がございましたら、お気軽に担当スタッフまでお問い合わせください。

さて、今回のエメラルド通信は、キャンセル時の注意事項のご案内や窓口休業のお知らせ、皆様からの作品やエピソード等をご紹介します。

是非、お手に取ってゆっくりご覧ください。



キャンセル時の

注意事項について

急な用事や体調不良など、やむを得ない事情により予定していたサービスをキャンセルする場合があります。

その際、「キャンセル料」が発生する場合と、発生しない場合がございますので留意ください。

契約時の重要事項説明の際にもご案内した通り、キャンセル料の発生については次の通りとなります。

キャンセル料なし	ご利用日の前営業日の 16時まで にご連絡いただいた場合
キャンセル料あり	ご利用日の前営業日の 16時まで にご連絡がなかった場合

何卒、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

尚、発生するキャンセル料につきましては、予定していたサービスにより金額が異なります。

詳細は、お手元の「重要事項説明書」をご確認いただくか、訪問介護スタッフまでお問い合わせください。

窓口休業のお知らせ

年末年始の窓口営業は下記の通りです。予定の変更などは、お早めにご連絡ください。

令和元年12月28日(土)～令和2年1月5日(日)

【訪問介護部】

047-351-4140

【相談支援部】

047-351-4155

《受付時間》平日9:00～17:00





エメラルド広場

皆さまからご提供された作品を豆知識と共にご紹介いたします。
どうぞ、ごゆっくりとお楽しみください。



1つ目の作品は、フランス刺繍で作成した掛け軸です。
ご利用者様の奥様が、フランス刺繍の先生になられてから作られた作品とのことです。

水辺に咲くアヤメのそばに、2羽の白い水鳥が刺しゅうされています。

黄色く細いくちばし、長い首と足。この水鳥は、白鷺でしょう。

水鳥の羽やアヤメの葉にかかるグラデーションなど、1つ1つとても細かく丁寧に作られた素敵な作品です。

利用者：O様提供

はみだし豆知識

今回の作品に登場する水鳥を調べていたところ、実は「シラサギ」という鳥は存在しないことを知りました。

どうやら、身体の白いサギをまとめて「シラサギ」と呼んでいるようで、大きさや細かな特徴の違いで、本来は別の呼び名が個々にあるそうです。

残念ながら野鳥に詳しくない筆者は、作中の2羽を「シラサギ」と呼ぶことしかできませんでした。



2つ目の作品は、PPバンドで作った犬の人形です。
顔と耳、しっぽの部分は白いバンド、体の部分は緑のバンドで作られています。

まん丸の目と鼻、赤い舌をペロッと出している表情と、先をくるりと丸めたしっぽが可愛らしいです。

以前もPPバンドの作品を紹介しましたが、従来の使い方とは違う発想で何かを作るって楽しいですね♪

利用者：Y様提供

はみだし豆知識

PPバンドは本来荷造りで使われますが、カッターなどがなくても手で簡単に外す方法をご存知ですか？

バンドが接着されている部分を裏返すと、少し余分なバンドが残っています。その余分なバンドを引っ張れば、簡単に剥がすことができ、あとは手で千切ることができます。

ただ、バンドで手を切ってしまうようにご注意ください。ね。



エメラルド交差点

日常の「クスッ」となること「ビックリ！」したこと「ホッコリ」すること。

利用者様とスタッフが自由に交流できる投稿コーナーです。

#7 浦安でホッコリ

私はエメラルドサポートでお世話になり、早や4年目になります。

浦安は、まっすぐ伸びた道路にヤシの木が並び、アメリカ西海岸サンタモニカを思わせるステキな街です。また、私が交通手段で利用している「おさんぽバス」に乗車した際も、乗客が「ありがとうございました」と言って降りられる姿を見て、以前暮らしていた横浜ではなかった事だといつも感心させられます。

中でも、小さなお子様（未就学児）の「ありがとうございました！」は、思わずホッコリさせられるひと時です。

訪問介護部：豊山 ケイ子



エメラルドの光

【サンタさんいつまでも】

サンタさんは小さいときにしか来ない。

大きな袋にたくさんの子供たちのプレゼントを詰めて、空をトナカイが引くそりで飛んでくる。

私の小さい頃、母とおばあちゃんが、「今日はサンタさんが来る日だから煙突をきれいにお掃除してるのよ。」と言いながら竹の先に大きな綿をくるんだ丸い物ですすを掃除してくれていた。

私はそれを見ながら不思議に思っていた。あんなに大きな袋を担いだ太ったサンタさんが入るにはあまりにも小さい煙突だったから「ここは煙突が小さいので入れない。」と素通りされたら大変だ。

しかし、サンタさんは私の家を通り過ぎることなく枕元にお菓子や絵本、ぬいぐるみやピアノのおもちゃなどを置いて行ってくれた。

兄弟三人、枕元にお父さんの大きな靴下を置いて寝た。翌朝、まだ暗いうちに目を覚まし、枕元に手を伸ばした時の、「カサ・カサ」という音に胸をときめかせて飛び起きていたところが懐かしい。

どうか、このようなシーンが小さな子供たちに永遠に続きますように。

エメラルドサポート(株)代表取締役 佐藤 尚美